

9月定例会では5名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。  
 なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。

# 市政を問う



一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、市長などに方針を問うものです。

## 平成30年7月豪雨災害現地視察

9月11日に平成30年7月5日～7月9日発生のも梅雨前線豪雨による災害現場、3カ所の現地視察を行いました。(農地災害12カ所、農業用施設災害15カ所、林道災害49カ所、公共土木災害16カ所)

市道  
北町・横柴折線道路の崩壊



市道…堤口別府開拓線

民地側の山腹部および盛土が崩壊。土砂崩落の際、市道堤口別府開拓線の路肩の一部が削り取られたほか、崩土の蓄積により、通行が不可能となっている。

林道…岸川支線3号

盛土部に湧水が発生し、盛土が崩壊した。



## 請願・陳情・要望など

### ▼下水道施設の改築への国費支援の継続に関する意見書

国は、下水道施設の改築について受益者負担の観点から、排出者が負担すべきとし、国による支援は、下水道未普及事業・雨水対策事業等を重点的に行う方針とした。しかし、市民生活の維持や下水道の公共的役割に対する国の責務の観点から、下水道施設の改築における国費支援の継続を求める。

### ▼児童虐待防止対策の強化を求める意見書

増加する児童虐待を根絶するため、応急的な措置の実施とともに市町村での充実した体制の下で国と連携して取り組むことが不可欠であり、次の事項について実施することを求める。

- 1 児童虐待防止対策「緊急に実施する重点対策」について各自自治体の実施状況を把握し、実施の徹底及び予算措置を図る
- 2 子ども家庭福祉に関わる職員に対して、研修の法定化及び研修機能の強化
- 3 市町村職員、子ども家庭総合支援拠点に関わる人件費に係る予算措置の強化



飯守 康洋

### 新図書館整備に関して

**飯守** 今すぐに取り組む理由は、

**答弁** 現図書館の運営については、県内最下位クラスの状況にあり、図書館機能やサービスについて十分な体制を確保できない現状です。図書館機能の充実を図るためにも、早期に現状の社会情勢に対応した滞在型の図書館づくりに取り組む必要があります。

**飯守** 建設地については、

**答弁** 庁内の検討結果を受け、教育委員会においても周辺の公共施設の立地状況や利用者の利便性等も勘案し、多久北部運動広場を新図書館の候補地として決定しました。

**飯守** 施設の構造・面積・仕様は、

**答弁** 平屋建てを基本とし、ユニバーサルデザインに配慮した施設にしたいと考えています。国及び県が示した基準等を参考に、新図書館の延べ床面積を10000～14000㎡と想定しています。先進地の事例や方式を取り入れながら検討を進めていきます。

**飯守** 初期費用は、



**飯守** 財源については、

**答弁** 運営費用については、

**答弁** 市直営、一部業務委託、全部委託の3方式、蔵書冊数12万冊、開館時間を9時から19時まで、年間開館日数を約280日の想定で、市直営の場合で約7500万円、一部業務委託の場合は約7400万円、全部委託の場合は約6600万円と試算しています。

**飯守** 財源については、

**答弁** 新図書館整備につきましては、建設に係る費用は過疎対策事業債を予定しています。